

COUNT関数

使い方マスターガイド



※当ガイドに従うことで、法令違反がないことを保証する資料ではありません。
※あくまで参考としてご活用いただくことを想定している資料です。実際の制度内容は国の資料等をご確認ください。

COUNT関数の「落とし穴」

COUNT関数の「落とし穴」

COUNT関数は「個数を数える」関数ですが、何でも数えてくれるわけではありません。「数値（日付・時刻含む）」しか数えないという厳格なルールがあります。

`=COUNT(値1, [値2], ...)`

入力データ	COUNT関数の判定	結果
100（数値）	数える	1
2025/1/1（日付）	数える	1
"東京"（文字）	数えない	0
""（空白）	数えない	0



ポイント：名簿の「氏名」や、アンケートの「回答あり」などの文字データを数えたい場合は、COUNT関数を使ってはいけません。

【保存版】 カウント系関数「使い分け」早見表

【保存版】カウント系関数「使い分け」早見表

「何を数えたいか」によって、使うべき関数は決まっています。迷った時はこの表を確認してください。

何を数えたい？	使う関数	覚え方
数値・日付だけ	COUNT	Basic Count
文字・数値なんでも (空白以外)	COUNTA	Count All (すべて)
空白セルだけ	COUNTBLANK	Count Blank (空白)
条件に合うものだけ (例：100以上)	COUNTIF	Count If (もし～なら)

 **結論：**「データの入力件数」を知りたい時は、中身が数値か文字か気にしなくて済む　COUNTA関数を使うのが実務でのセオリーです。

Googleスプレッドシートでの活用

Googleスプレッドシートでの活用

COUNT関数は、ExcelでもGoogleスプレッドシートでも使い方は全く同じです。ただし、スプレッドシートには独自の便利なカウント関数が存在します。

Excelと同じ点

- 引数の指定方法（範囲選択）
- 日付を数値として扱う仕様
- エラー値の扱い（エラー値は計算の対象外）

スプレッドシートならではの便利関数

`=COUNTUNIQUE(範囲)`

- 機能：重複を除外して、ユニークな（一意の）データの個数を数える。
- 活用：「購入者リスト（重複あり）」から「購入した人数」を一発で出したい時に最強です。

※Excelでは `=COUNTA(UNIQUE(範囲))` で求められますが、UNIQUE関数は最近のバージョンでないと使えません。一方、スプレッドシートなら標準で使えます

トラブルシューティング「0になる？」

トラブルシューティング「0になる？」

「数字が入っているのに、COUNT関数の結果が0になる…」この現象の原因は、「数値に見えるけど、実は文字列」になっているパターンが大半です。

よくある原因：

- 他のシステムからCSV（コンマ区切りテキスト ファイル）でダウンロードしたデータを使っている
- 数字の前にシングルクォーテーション（'）がついている
- 書式設定が「文字列」になっている

解決策：

1. COUNTA関数に変えてみる

文字列でも数えてくれるので、手っ取り早い解決策です。

2. 「数値に変換」する

範囲を選択し、セルの左上隅に表示される緑の三角形（エラー インジケーター）をクリックすると現れる！マークから「数値に変換する」を選ぶか、VALUE関数を使って数値に変換します。

【免責】

※当資料に従うことで、法令違反がないことを保証する資料ではありません。

※あくまで参考としてご活用いただくことを想定している資料です。また当資料は、公開日時点の内容となっております。最新の情報、実際の制度内容は国の資料等をご確認ください。